

2018年度第2回研修委員会議事録

日 時：5月16日(水) 14:30～16:30

場 所：明治大学中野キャンパス高層棟1階 交流ギャラリー

出席者：和田貴敏（中央大学）、岡田将彦（慶應義塾大学）、桑垣孝平・渡邊幸弘（早稲田大学）、土田大輔（明治大学）、吉水拓哉（立正大学）、粕川悠介（成城大学）

オブザーバー：厚木勝之（丸善雄松堂）、新井和之（成城大学）

議 長：和田貴敏（委員長）

配付資料：

- ①研修委員会名簿
- ②地域研修開催通知（案）
- ③第1回研修委員会議事録（案）

議 題：

1. 地域研修の概要確認について

今年度の地域研修について、研修プログラムの委託先である丸善雄松堂より、図書館員や教員ら約400人が受講した研修内容を基に企画している旨の説明があった。

企画内容は以下の通り。

- ライティング支援の体験を主眼とするため、ロールプレイが研修時間の半分を占めるが、研修全体を1プログラムとして扱うため、開催通知等に研修プログラムの細かい時間配分は記さない。
- 今回の研修プログラムのために講師と丸善雄松堂が共同で作成する当日配付用のテキストの完成期日は、開催日の2週間前を見込んでいる。
- 次回研修委員会で丸善雄松堂が、研修内容の趣旨文と事前課題を提案することとしたほか、事前課題には、ライティング支援の実施状況についての事前調査、参考文献、今回の研修に期待することや講師に聞きたいこと等を盛り込むこととした。

2. 地域研修の告知と募集方法について

研究部担当理事校より、資料②をもとに説明があり、募集期間や文言等について確認した。東地区部会総会（6月8日開催）では、地域研修とオンデマンド研修の告知文を表裏1枚に印刷したちらしを配布することとした。

研修開催にあたっての参加最低人数は、ロールプレイで、相談者（学生役）・助言者（図書館員役）・観察者の役回りをそれぞれ1回、3人1組（2人1組も可）を基本とするため、最低2組は作りたいと丸善雄松堂より要望があった。なお、会場の収容人数の都合から、50人を超えた場合は参加者数の調整を検討することとした。

3. 今後の委員会スケジュールについて

7月、9月は委員会を開催することとした。

7月は慶應義塾大学三田キャンパスで開催する予定である。

4. その他

昨年度までの議事録作成形式について確認し、本年度より記名式の1種類で統一することとした。

以 上